

事業所名

こどもねっとゆに（児童発達支援）

5領域支援プログラム

作成日

2025年

2月

1日

法人（事業所）理念		子ども達それぞれに合った自立に向けた支援を行う							
支援方針		他者を信頼し、自己理解をすすめながら生きていく力を育む							
営業時間		9時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<p>健康な心と体を育て、安全で自立した生活の基盤作りを支援していきます。また、意思表示が困難な子ども達の特性を配慮し、小さなサインから心身の変化に気付けるよう心がけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日常に関わる基本的な生活スキルの獲得（衣服の着脱・排泄・手洗い・持ち物の管理など） ●体温測定を通じ、健康状態の把握 							
	運動・感覚	<p>感覚統合療法の視点を取り入れた運動遊びから様々な感覚へアプローチし、日常生活に必要な姿勢保持や運動、動作の改善、筋力の維持・強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スイングやバランスボール、トランポリンなどを使用したバランス感覚のトレーニング ●サーキットやマットなど組み合わせた活動を通じた固有感覚への刺激 ●クレヨンで絵を描く、紐通し、積み木を重ねるなど、手や指先を使う遊びへの推奨 ●ボールプールや粘土、豆遊びなどの触覚へのアプローチなど 							
	認知・行動	<p>認知機能の働きかけから適切な行動の習得を促進し、日常生活や社会生活での適応力を向上させることを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●おもちゃ、音楽、絵本などを使用して五感を刺激し、認知機能の発達を促す ●文字や数字を遊びやルールに導入し、興味を広げる ●簡単な工作活動を通じた微細運動など 							
	言語 コミュニケーション	<p>人との関りの中で相手の話に耳を傾ける姿勢と、自分の気持ちを言葉で伝える力を育てていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●歌や絵本、絵カードなどで楽しく言葉に親しむ ●遊びの共有の中で行われる意思や気持ちを伝え合う経験 ●指差し、身振り、サイン等の非言語的コミュニケーションの活用など 							
	人間関係 社会性	<p>日々の活動を通して対人関係の築き方を学び、社会性を高め、良好な人間関係を築くための支援をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基本的なふるまいについての練習（挨拶、お礼など） ●仲間との関係を築くスキルの練習（誘い方、仲間に入る時など） ●SSTで学んだことを実際に使用する練習 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ●発達段階に合った生活の安定を目指し、ご家庭に寄り添った丁寧な支援を行ってまいります。 ●送迎や面談、電話連絡の際など、折に触れて利用児の様子を共有させていただきます。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ●現在、通園・通学している、または通園・通学予定のある施設に専門スタッフが訪問し、直接支援や観察、助言等を行います。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ●関係する放課後等デイサービス、相談支援事業所、児童相談所への情報共有 ●支援者会議への参加 ●教育と福祉の連携会議への参加 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ●入職職員の研修の実施（虐待防止、感染予防など） ●必要に応じて自治体が提供する研修に参加し、社内スタッフと共有することで全体の知識の向上を図ります。 	
主な行事等		・親子クッキング（不定期）							